

ワンボタン操作で漏水有無をチェック

－インドネシアの無収水率削減を目指す－

国際協力機構(JICA)は、「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」において東京水道サービス株式会社(東京都新宿区、増子 敦代表取締役社長)が提案する「TS リークチェッカーを活用した上水道の無収水削減技術案件化調査」(インドネシア)を採択しました。

インドネシアは漏水や盗水などによる無収水率(収入に結びつかない水の割合)が全国平均約30%と非常に高い水準です。現地水道公社はメーター交換等の対策を行っているものの、無収水の要因の多くを占める「地下漏水」への取り組みはほとんど行われていません。漏水探査機器を扱うことが出来る技術者不足がその一因です。

東京水道サービス株式会社は、最新の漏水発見器である「TS リークチェッカー」と、無収水対策ノウハウとのパッケージ技術サービスを導入することで、漏水率の削減に取り組めます。TS リークチェッカーは、水道メーターの上などに設置するだけで、給水管から漏水有無の可能性をワンボタン操作で瞬時に(約2秒)判別することが可能。そのため誰でも簡単に漏水探査を行う事が出来ます。これにより、効率的な漏水対策を実現し、ひいては無収水率削減への貢献が期待されます。

本調査では、約400戸の既存給水区域を選定し、TS リークチェッカーを用いたパイロット調査(漏水探査)を実施し、現地適合性を確認すると共に、事業計画案の策定に取り組めます。

(注) 案件化調査は、途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行うもの。企業は、製品・技術をODA事業に活用するための情報収集・事業計画立案等を行う。2012年度から実施されており、2017年度第1回分は今年3月に公示を行い、36件が採択。(参考サイト：https://www.jica.go.jp/press/2017/20170620_01.html)



TS リークチェッカー

水道メーターに直接あてて測定する。

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 広報室報道課 宮田

TEL 03-5226-9780 e-mail : Miyata.Naoaki@jica.go.jp